

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	基礎製図Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0031		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科（電気電子コース）		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	独自に作成した資料を適時配布						
担当教員	山本 洋司,浅尾 晃通,池部 怜,寺井 久宣						
到達目標							
・ 製図の規格を理解できる。 ・ 図形を正しく書くことができ、寸法を記入することができる。 ・ 公差と表面性状を説明することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		簡単な部品図の製図ができ、寸法も見やすく記入することができる。		図面例を見ながら、写図ができる。		図面例を見ても、写図ができない。	
評価項目2		機械要素について説明でき、製図することができる。		機械要素の製図ができる。		機械要素について理解しておらず、製図もできない。	
評価項目3		寸法公差やはめあいを理解し、計算ができる。		寸法公差やはめあいの計算ができる。		寸法公差やはめあいを理解しておらず、計算もできない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本工業規格(JIS)に定める「機械製図」の規格を理解・把握し、誤りなく図面を読み、作図を行うための知識と技術を習得する。					
授業の進め方・方法		JIS規格に基づいた製図の各規則、および基本となる約束事項の習得を目指す。各項目の説明の後、演習を主体とした授業を行う。					
注意点		履修上、最低限の製図用具は必要となる。 受講にあたって基礎製図Ⅰの内容をよく復習しておくこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・ ガイダンス ・ 基礎製図Ⅰの復習		・ 製図の重要性を今一度理解する。 ・ 三角法や線種について理解し、三面図が描ける。		
		2週	・ 寸法記入の基礎		・ 寸法記入方法を理解し、簡単な図面が描ける。		
		3週	・ 直径、半径、面取りの寸法記入		・ 直径、半径、面取りの寸法記号を使いこなせ、これらを含んだ図面が描ける。		
		4週	・ 長穴の寸法記入		・ 長穴の寸法記入方法を理解し、長穴を含んだ図面がかける。		
		5週	・ ざぐりの製図		・ ざぐり、皿ざぐりについて説明できる。 ・ ざぐりの製図ができる。		
		6週	・ 断面図		・ 断面図の製図方法を理解し、各種断面図が描ける。		
		7週	・ 1～6週までの復習		・ 1～6週までの内容を理解し、製図できるようになる。		
		8週	・ 中間試験		・ 1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	2ndQ	9週	・ 試験内容についての解説 ・ ねじの製図		・ 中間試験の内容を理解する。 ・ ねじについて説明できる。		
		10週	・ ねじの製図		・ ねじ記号が判別できる。 ・ ねじの製図ができる。		
		11週	・ キーの製図		・ キーについて説明できる。 ・ キー溝の製図ができる。		
		12週	・ 歯車の製図		・ 歯車について説明できる。 ・ 歯車の製図ができる。		
		13週	・ 軸受の製図 ・ ばねの製図		・ 軸受、ばねについて説明できる。 ・ 軸受、ばねの製図ができる。		
		14週	・ 9～13週までの復習		・ 9～13週までの内容を理解し、製図できるようになる。		
		15週	・ 定期試験 ・ 試験内容についての解説		・ 9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
		16週	・ 定期試験内容についての解説		・ 定期試験の内容を理解する。		
後期	3rdQ	1週	・ 寸法公差		・ 寸法公差について説明できる。 ・ 寸法公差に関する計算ができる。		
		2週	・ 寸法公差		・ 寸法公差を含んだ製図ができる。		
		3週	・ はめあい		・ はめあいについて説明できる。 ・ はめあいに関する計算ができる。		
		4週	・ はめあい		・ はめあいを含んだ製図ができる。		
		5週	・ 表面性状		・ 表面性状について説明できる。		
		6週	・ 表面性状		・ 表面性状を含んだ製図ができる。		
		7週	・ 1～6週までの復習		・ 1～6週までの内容を理解し、製図できるようになる。		
		8週	・ 中間試験		・ 1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		

4thQ	9週	・試験内容についての解説 ・部品図の写図	・中間試験の内容を理解する。 ・簡単な製品に使われている部品を写図し、製図のルールを定着させる。
	10週	・部品図の写図	・簡単な製品に使われている部品を写図し、製図のルールを定着させる。
	11週	・部品図の写図	・簡単な製品に使われている部品を写図し、製図のルールを定着させる。
	12週	・部品図の写図	・簡単な製品に使われている部品を写図し、製図のルールを定着させる。
	13週	・組立図について	・組立図の役割と製図方法を理解する。
	14週	・1年間の復習	・基礎製図IIで学習した内容を復習し、理解の定着を図る。
	15週	・定期試験	・9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	16週	・定期試験内容についての解説	・定期試験の内容を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	製図	製作図の書き方を理解し、製作図を作成することができる。	3	前1
				図形を正しく描くことができる。	3	前6,前10,前11,前12,前13
				図形に寸法を記入することができる。	3	前2,前3,前4,前5
				公差と表面性状の意味を理解し、図示することができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				部品のスケッチ図を書くことができる。	2	後9,後10,後11,後12,後13

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	40	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0